



Cisco Webex Share の管理

- [Cisco Webex Share の機能](#) (1 ページ)
- [ビデオ メッシュおよび Cisco Webex Share](#) (6 ページ)
- [トラブルシューティング ツール](#) (6 ページ)
- [Cisco Technical Support](#) (シスコ テクニカル サポート) (10 ページ)
- [返品許可チェックリスト](#) (11 ページ)

Cisco Webex Share の機能

Cisco Webex Control Hub Cisco Webex Shareに追加した後は、デバイスに機能を追加できます。次の表は、サポートされる機能の一部が表示されています。



- (注) 一部 Cisco Webex Shareの機能には、消費者向け電子機器制御 (CEC) が必要となるため、Webex 共有画面上の HDMI CEC ポートに接続することができます。詳細については、次の画面上ドキュメントを参照してください。

Cisco Webex Share の機能

Cisco Webex Share の機能	説明と詳細情報
デジタル サイネージ	広告コンテンツやブランド情報、訪問者、社内の従業員情報、ダッシュボード、カレンダーなどのカスタムコンテンツを画面に表示できます。
会議室予定表	会議室にスケジュールされたミーティングを確認できます。 詳細については、 カレンダーサービスの追加 (5 ページ) を参照してください。

Cisco Webex Share の機能	説明と詳細情報
ワイヤレスゲスト共有	<p>ユーザは、アカウントを持たない Webex 登録済み会議室のデバイスにコンテンツをワイヤレスで共有します。</p> <p>この機能は設定が不要です。一部の表示画面では、共有画像がゆがむため、表示画面設定を調整する必要があります。たとえば、解像感の設定を調整したり、画像モードをコンピュータまたは同等の形式に変更したりすることができます。詳細については、表示される画面に付属しているマニュアルを参照してください。</p>

Cisco Webex Shareでのデジタル信号の設定

デジタル信号を使用すると、ユーザのビデオおよびスタティック画像をミーティング間で、または Cisco Webex Share アイドル状態のときに表示される画面上で表示できます。広告コンテンツを表示してブランドを宣伝できますが、訪問者や社内従業員の発表や情報も表示できます。

デジタルサイネージを利用するには、AppSpace などのサードパーティプラットフォームにアクセスする必要があります。

Webex 共有 2 分間動作しない状態が続くと、看板モードに入ります。会議中に画像が表示されない、画面が共有されない、カレンダーの予定されたカレンダーイベントが表示されません。

静止画像を使用する場合は、次の仕様に注意してください。

- 最大解像度は 1920x1080 です。アップロードした画像が大きい場合は、AppSpace によってサイズが変更されます。
- サポートされている静的イメージファイル形式は .png と .jpeg です。

ビデオを使用する場合は、次の仕様に注意してください。

- コンテナ形式: .mp4
- ビデオエンコーディング: H.264
- B フレームはありません。ZeroLatency ブレーキを使用してビデオをエンコードする場合は、[調整 (チューン)] パラメータを選択します。

推奨する H. ビデオの 264 設定は次のとおりです。

- 主なプロファイル
- レベル 4.2

- 30 フレーム/秒の 1920x1080 の最大解像度と最大フレームレート。これらの設定を超えると、ビデオは再生されません。Webex 共有が次のビデオを受信すると、通常のビデオ再生が再開されます。
- Web ストリーミングビデオ用に最適化します。

ビデオをストリーム配信する場合は、低帯域幅モードを無効にします。



- (注) 画面表示設定は、デジタル信号の画像に影響を与えます。静止画像がゆがんでいるか画質が悪い場合は、テレビの表示設定を変更します。例えば、一部のディスプレイメーカーでは、**鮮明度**を低く設定したり、**画像モードをコンピュータ**または同等の形式に変更したりすることができます。詳細については、TV に付属しているマニュアルを参照してください。

デジタル信号を設定すると、次のスタンバイ設定が変更されます。

- **待機する > コントロール** はオンにリセットされます。
- **スタンバイ > 遅延** は、120 分とスリープモードにリセットされます。これは、デバイスがスリープモードに入るまでの遅延時間です。

HTML5 はサポートされていません。

詳細については、以下のデジタル信号のための AppSpace のドキュメントを参照してください。
<https://docs.appspace.com/latest/how-to/configure-wallpaper-for-cisco-webex-share/>

始める前に

AppSpace の管理者アカウントと、AppSpace チャネル用の HTTP セキュア URL が必要です。AppSpace サーバが自己署名証明書を使用している場合、証明書を Webex Share と共有します。信頼のおける認証機関により署名された証明書を使用してローカルの AppSpace サーバを利用している場合は、証明書を共有しません。

手順

- ステップ 1** <https://admin.webex.com/> の顧客ビューから、**デバイス**に進みます。
- ステップ 2** インベントリからデバイスを選択して、**詳細設定**を開きます。
- ステップ 3** **DigitalSignageServer**を選択します。
- ステップ 4** フィールドに AppSpace URL を入力します。
- ステップ 5** **適用**をクリックします。

関連トピック

[認証機関またはルート証明書を追加する](#)

静的 IP アドレスの設定

デバイスは IP アドレスに Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用します。これは、ログイン時にアドレスが変更される可能性があります。デフォルトでは DHCP を使用しますが、アドレスを同じにしたい場合は静的または固定の IP アドレスを設定できます。一部の管理者は、特定のアドレスを各場所またはデバイスに割り当てることができるため、静的な IP アドレスを好みます。

新しいアドレスがブラウザに読み込まれ、デバイスが登録またはアクティブ化されたら成功です。ただし、問題が発生した場合は、初期設定にリセットしてから、設定タスクを繰り返します。



(注) デバイスを登録した後、スタティック IP の設定を変更することはできません。デバイスを登録する前に、デバイスの固定 IP のみを設定することができます。

始める前に

静的 IP アドレスを設定する前に、次のタスクを完了することを推奨します。

- デバイスをネットワークに接続し、登録またはアクティブにします。
- 静的 IP アドレスが一意であり、他のデバイスで使用されていないことを確認します。
- デバイスの IP アドレスを取得します。

また、pc やモバイルデバイスも、ブラウザおよびインターネットに接続する必要があります。

手順

- ステップ 1** お使いのウェブブラウザで IP アドレスを表示し、デバイスページにアクセスします。ウェブページ向けにセキュリティの例外を追加し、確認することができます。
- ステップ 2** **Setup (設定) > Edit (編集)** をクリックします。
- ステップ 3** 使用可能なフィールドのいずれかに新しい IP アドレスを入力します。
- ステップ 4** **[保存 (Save)]** をクリックします。
新しい IP アドレスがブラウザに読み込まれます。

関連トピック

[Cisco Webex Share への接続とアクティベーション](#)

[Cisco Webex Share を工場出荷時の設定にリセットする \(8 ページ\)](#)

カレンダーサービスの追加

カレンダー機能はオンラインのカレンダーをデバイスと統合して、予定されている Webex ミーティングを表示できます。ほとんどの人は導入時にこのサービスを設定しますが、後で追加できます。

手順

- ステップ 1 <https://admin.webex.com> のカスタマービューから、ワークスペースに移動しワークスペースを選択します。
- ステップ 2 [編集 (Edit)] をクリックします。
- ステップ 3 Tカレンダーサービスをオンに切り替えて、ユーザがそのデバイスで [One Button to Push] (OBTP) を使用できるようにします。[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 4 カレンダーの電子メールアドレスを入力します。
 - Google カレンダーに、G スイートから Google リソース電子メールアドレスを入力してください (カレンダー > リソース)。
 - Microsoft Exchange または Office 365 の場合は、ルームメールボックスの電子メールアドレスを入力します。
- ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

ファームウェア アップグレード

ファームウェアのアップグレードは、利用可能な新しいリリースがある場合に、Cisco Webex Control Hub を通して自動的行われます。手動でデバイスをアップグレードする必要はありませんし、ファイルをダウンロードしてインストールする必要もありません。ただし、これはファームウェアのチャンネルに基づいています。

- 安定したチャンネル: 月ごとの更新が発生
- チャンネルのプレビュー: 週ごとの更新が発生

通常のアップグレードは、Cisco Webex Share がアイドル状態のときにのみ午前 0:00~6:00 時の間に実行されます。ただし、デバイスが 2 つの連続したアップグレードウィンドウで使用されている場合は、最初のアップグレード試行から 48 時間後に更新が行われると、デバイスの使用が中断されます。

重要な更新は、より重要であり、いつでも発生する可能性があります。これらのアップグレードによって、デバイスの使用が中断されます。

アップデートでは、<https://binaries.webex.com/> にアクセスして、導入前にこのサーバへのアクセスを確認する必要があります。

場合によっては、Cisco デバイスが旧リリースのファームウェアで出荷されます。これが発生した場合、デバイスは導入およびアクティベーション後の最初のアップグレードで更新されます。ただし、これらの機能は、工場出荷時のファームウェアの負荷と連携するように設計されています。

ビデオ メッシュおよび Cisco Webex Share

Cisco Webex ビデオメッシュは、オンプレミスとクラウド会議リソースの最適な組み合わせを探します。十分なローカルリソースがある場合は、オンプレミスの会議はオンプレミスで実行されます。ローカルのリソースがすべて使用されている場合は、会議はクラウドに拡張されません。

Cisco Webex ビデオメッシュでの、Cisco Webex Shareのサポートに設定は必要ありません。詳細については、次のトピックを参照してください。

- *Cisco Webex* ビデオメッシュの導入ガイド (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/spark/products-installation-guides-list.html>)
- *Cisco Webex* ハイブリッドサービスの優先アーキテクチャ、CVD (<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/solutions/CVD/Collaboration/hybrid/12x/hybevcd/intro.html>)

トラブルシューティング ツール

次のセクションの情報を利用し、Cisco Webex Shareのトラブルシューティングを行います。

デバイスの Web ページを表示

問題のトラブルシューティングを行う場合は、デバイスの web ページを使用して対処することができます。デバイスページは、デバイスを Cisco Webex Control Hub に登録した後で利用可能になります。

このページで次の操作を実行できます。

- **問題の報告:** デバイスの問題レポートを生成します。問題レポートには、Cisco のテクニカルサポートによって使用されるデバイスログが含まれています。また、制御ハブからの問題レポートを使用することもできます。
- **デバイスログのダウンロード:** 履歴およびパフォーマンスメトリックのデバイスのログをダウンロードして表示します。デバイスログをダウンロードするまでは、初期化を行わないでください。
- **デバイスの統計表示:** デバイスの統計情報を確認します。

始める前に

デバイスの IP アドレスを取得します。

手順

ステップ 1 Webブラウザを開いて、次のURLを入力します。IP addressはデバイスのIPアドレスです。

http://IP address

ステップ 2 デバイス情報を表示するにはサポートを選択します。

Cisco Webex Shareのデバイス詳細の表示

問題のトラブルシューティングを行う場合は、デバイスの情報ページを表示して対処することができます。[デバイスの情報] ページに、IP アドレス、ファームウェアロード、MAC アドレス、およびデバイスが登録されているかどうかが表示されます。

手順

ステップ 1 Webex 共有が動作状態にあるときにリセットボタンを押します。

ステップ 2 もう一度リセットボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。



Webex Share

📍 Huddle Room 7B

Video address

webex_share@teams.webex.com

Version

novum1.1.0 0863551 2017-08-09 09:26:39 ciscouser

Network

Connected to blizzard

Channel

Beta

IP address

10.0.0.45

Registration state

Registered

MAC address

0C:27:24:31:1E:1A

Issues and Diagnostics

Type 10.0.0.45 into a browser to access the device management page

Press the button on Webex Share again to dismiss this window

Cisco Webex Control Hubからデバイスを再起動する

技術的な問題が発生している場合は、デバイスを再起動することができます。Cisco Webex Control Hub からのデバイスの再起動は設定に影響せず、ログファイルが保持されます。



- (注) 電源サイクルを実行すると、最新バージョンのログファイルが失われます。これにより、デバイスの電源を入れ直す前に、ログをダウンロードすることが困難になります。

手順

- ステップ1 <https://admin.webex.com/>の顧客ビューから、デバイスに進みます。
- ステップ2 インベントリからデバイスを選択して、詳細設定を開きます。
- ステップ3 検索バーをクリックしてメンテナンス > 再起動を選択します。
- ステップ4 ドロップダウンリストから再起動を選択します。
- ステップ5 適用をクリックします。

Cisco Webex Shareを工場出荷時の設定にリセットする

Webex 共有をデフォルト設定にリセットしたい場合は、出荷時設定へのリセットボタンを使用できます。



- (注) 工場出荷時の状態へのリセットを実行すると、Webex 共有からすべてのデータと設定が完全に消去されます。工場出荷時の状態にリセットした後、新しいアクティベーションコードを使用してWebex 共有を再度登録する必要があります。

手順

リセットボタンを10秒間押し続けます。

表示画面には、工場出荷時へのリセットまでのカウントダウンが表示されます。



Continue to hold the button down for **3** seconds to factory reset this device.

Cisco Webex Control Hubから問題レポートを生成します。

問題レポートには、Cisco テクニカルサポートサービスが問題のトラブルシューティングを行う際に使用するデバイスログが含まれています。ファームウェアまたはハードウェアの問題がある場合は、レポートを送信します。

手順

-
- ステップ 1** <https://admin.webex.com/>の顧客ビューから、**デバイス**に進みます。
 - ステップ 2** インベントリからデバイスを選択します。
 - ステップ 3** 問題をレポートするをクリックします。
ブラウザに Webex ヘルプセンターのウィンドウが開きます。
 - ステップ 4** ヘルプウィンドウの説明欄に問題の説明を入力します。最大 249 文字です。
 - ステップ 5** [送信 (Submit)] をクリックします。
-

Cisco Webex ネットワークテスト

Cisco Webex Network Test ツールを使用して、ネットワーク接続をテストすることができます。ツールは、<https://mediatest.webex.com> にあります。次のネットワーク属性をテストします。

- TCP 接続
- TCP 遅延

- TCP ダウンロード速度
- TCP アップロード速度
- UDP 接続
- UDP 遅延
- UDP 損失率

トラブルシューティング用マニュアル

問題のトラブルシューティングを行うには、次の追加マニュアルを参照してください。

- *Cisco Webex Meetings* でビデオを送受信するための最小帯域幅要件は何ですか。
—<https://help.webex.com/en-us/WBX22158/What-are-the-Minimum-Bandwidth-Requirements-for-Sending-and-Receiving-Video-in-Cisco-Webex-Meetings>
- 会議のトラブルシューティング—<https://help.webex.com/en-us/WBX9000018881/Troubleshooting-Meetings>
- *Cisco WebEx Meetings* サーバのトラブルシューティングガイド—<https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/products-troubleshooting-guides-list.html>
- 制御ハブでの高度な診断ツールとトラブルシューティング—<https://help.webex.com/en-us/ni3wlvw/Advanced-Diagnostics-and-Troubleshooting-in-Control-Hub>

また、<https://mediatest.ciscospark.com/>で Cisco Webex ネットワークテストを使用することもできます。

Cisco Technical Support (シスコ テクニカル サポート)

有効なシスコサービス契約の対象となるお客様、パートナー、リセラー、ディストリビュータであれば、テクニカルサポート サービスをオンラインや電話でご利用いただけます。

シスコサポートへお問い合わせの際は、リクエストをスムーズに処理するため、Cisco.com のユーザ ID、契約番号、および製品のシリアル番号をあらかじめご用意ください。

さらに、サポートスタッフには、次の情報が必要です。

- シリアル番号と Wi-fi MAC アドレス: すべてのデバイスの背面に、シリアル番号と Wi-fi MAC アドレスがあります。
- 時間と日付の問題が発生しました: サポートスタッフは、デバイスログまたはクラウドメトリックを使用して問題のトラブルシューティングを行います。現地の時間と日付を概算しておくとう便利です。
- デバイスログ: サポートスタッフは、問題の根本原因を識別するためにデバイスログを必要とする場合があります。これらのログは、コントロールハブから送信できます。
- 簡単な説明: インシデントの前のアクションはすべて含まれます。

ほとんどのファームウェアの問題は、返品許可 (RMA) を使用せずにサポートスタッフが解決できます。ハードウェアの問題については、RMA プロセスを使用することをお勧めします。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>にある Cisco ワールドワイドサポートセンターの一覧を掲載しています。

返品許可チェックリスト

デバイス返品は、時間がかかる可能性があります。返品許可 (RMA) プロセスを開始する前に、次のことを試してください。

- 別の表示画面でデバイスを試してみてください。
- 問題が別のデバイスでも発生しているかどうかを確認します。
- デバイスをリブートします。

上記のいずれかで問題が解決した場合、問題はファームウェアの問題である可能性があり、RMA は必要ありません。デバイスログを収集し、シスコテクニカルサポート サービスにお問合せください。

